

令和 2 年度 ACTR

分類 番号	A9	取組 名称	宇治市・西小倉地域(近鉄小倉駅周辺)における市民との協働型まちづくりのあり方検討(その 3)
研究代表者所属・職名：		公共政策学部・准教授	氏名： 藤原 茂樹
研究担当者： 京都府立大学青山公三名誉教授、京都地域未来創造センター（永田恵理子、長田萌（敬称略）） 外部分担者・協力者（宇治市都市計画課 米田晃之氏、中本 洋氏、内藤 良氏）			
主な連携機関（所在市町村、機関（部署）名） 宇治市都市計画課			
【研究活動の要約】			
□宇治市・西小倉地域（近鉄小倉駅周辺）における、より良いまちづくりに向けた住民との協働のあり方を検討するため、住民や商業者へのアンケート調査やワークショップなどを実施し、行政と住民・商業者のまちづくりの課題認識の共有を図った。 研究 3 年目となる令和 2 年度は、若者の意見を拾い上げるため、近鉄小倉駅周辺の中学校 2 校と高等学校 1 校の生徒に対するアンケート調査を実施。また、中学校 2 校ではアンケートに先立ち、少数のグループに分かれた生徒達によるワークショップを開催した。この他、商業者のまちづくりに対する考えを確認するため、約 300 の商業者へのアンケート調査を実施した。アンケート調査の分析やワークショップの実施を通じて、概ね以下のような分析ができた。これらの結果を宇治市都市計画課を通じて中学校、高等学校、商業者などの関係者と共有し、地域における課題を抽出・整理していく一助とした。			
【研究活動の成果】			
今年度の研究活動の成果は、①小倉地域のまちづくりに関して若者の意見を拾い上げることができたこと、②地域の商業者の状況や考えを地区別・業種別に把握できたことの 2 つである。 では、小倉地区内の全ての中学校（2 校）及び高等学校（1 校）に協力をいただき、生徒達へアンケート調査を実施し、中学生 305 人と高校生 649 人の回答結果を得た。また、中学校 2 校でアンケート調査に先立って開催したワークショップでは、本学教員・研究員や学生がファシリテーターとしてグループディスカッションの活性化を図った。自分達の暮らすまちの良いところや課題について意見や考えを伝え合うことで、生徒達のまちづくりに関する理解と関心の向上を図ることができた。 ②では、地域の約 300 の商業者にアンケートを配布し、65 の商業者から回答を得た。回答結果から商業者の状況や考えを把握・確認することができた。			
【研究成果の還元】			
＜中学校でのワークショップの開催＞ R2.10.29 西小倉中学校 生徒数 156 名、R2.11.19 北宇治中学校 生徒数 149 名 ＜アンケート調査結果報告＞ 西小倉中学校、北宇治中学校、城南菱創高等学校、小倉商店ネットワーク他 2 商業団体 ＜宇治市委員会での活用＞ 令和 3 年 2 月 24 日 近鉄小倉駅周辺地区まちづくり検討委員会 ※ 中学生・高校生アンケート調査結果を検討のための基礎資料に活用 ＜新聞掲載＞ 令和 2 年 10 月 30 日、11 月 26 日 洛南タイムス			
【お問い合わせ先】 公共政策学部 藤原研究室 准教授 藤原 茂樹 Tel: 075-703-5616 E-mail: s-fujiwara@kpu.ac.jp			

参考（イメージ図、活動写真等）

●中学校ワークショップの様子



<中学生アンケート調査結果の概要>

●近鉄小倉駅やその周辺地区の利用状況・目的

- ・約9割の生徒が近鉄小倉駅を利用し、利用目的は、約8割が家族や友達との外出、約6割が買い物

●近鉄小倉駅周辺地区の好きなモノやコト

- ・約半数の生徒が「好きなモノやコト」が「ある」と答えた。具体的には「たい焼き屋」が最多

●近鉄小倉駅周辺について感じる事

- ・「買い物が便利である」「駅の利用がしやすい」「外食するのに便利である」については肯定的な回答が多数
- ・「道路の広さ」「自然の豊かさや景観」「まちの活気」については否定的な意見が多数

●近鉄小倉駅周辺がどのようなまちになってほしいか

- ・商業施設をはじめとする賑わいのあるまちや、災害などからの安心・安全なまちについての回答が多数

<高校生アンケート調査結果の概要>

●近鉄小倉駅周辺の好きなモノやお気に入りの場所

- ・約3割の生徒が「ある」と回答し、具体的には「たいやき屋」が最多

●近鉄小倉駅周辺について感じる事

- ・近鉄小倉駅周辺について感じることは、「駅からの通学が便利である」が最多
- ・近鉄小倉駅周辺について感じる事の「あてはまらない」は、「友達と遊ぶ場所がある」が最多

●近鉄小倉駅周辺が、どんなまちになれば良いと思うか

- ・「安心して歩ける安全なまち」が最多で、「地震や水害など災害に強いまち」「通学や買い物に行くための交通が便利なまち」が上位

- ・「豊かな農地が広がる農業がさかんなまち」や「歴史や伝統を大切にすまち」は下位

<事業者アンケート調査結果の概要>

●店舗・事業所の経営形態

- ・全体の61.5%が「個人事業主」であり、約9割の店舗・事業所が地元

●事業主の年齢と事業継続の意思

- ・42.5%が「60歳以上」で、「30歳未満」「30歳代」がいないことから、地区内の個人事業主の高齢化と、若手個人事業主への世代交代が進んでおらず、事業継続意志としては「現状維持」が64.6%で最多

●近鉄小倉駅周辺地区の商業を活性化するために重要なこと

- ・「集客が期待できる店舗や施設の整備・誘致」が最多であり、次いで「周辺道路等のインフラ整備」、「駐車場整備等の商業地区の基盤整備」が上位